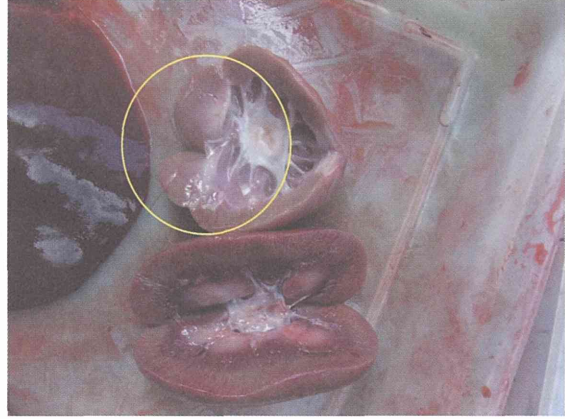
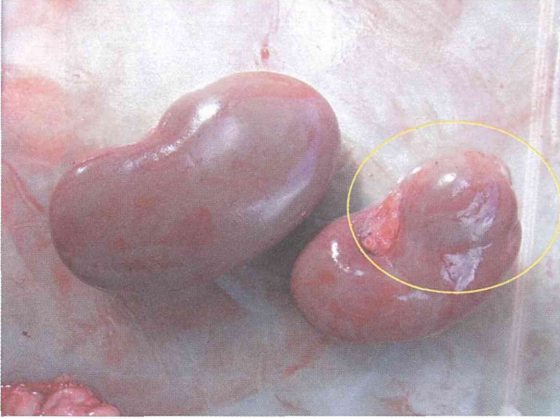
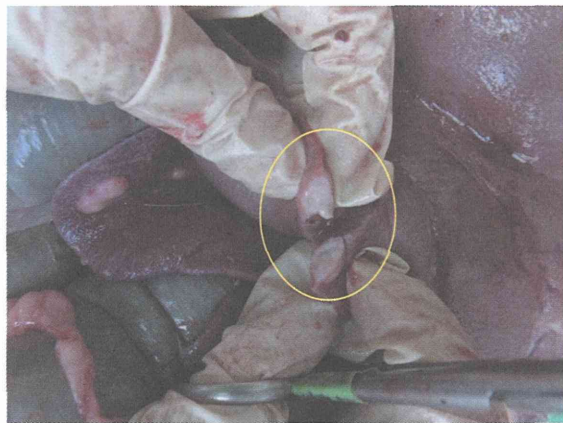


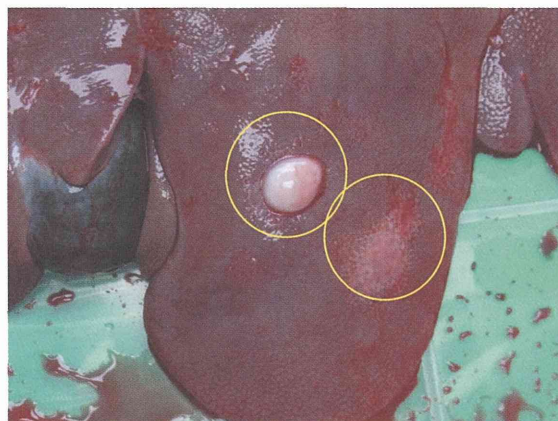
2013/7/7 (豊北町)
シカ、メス、34kg、125cm
腎臓の異形成



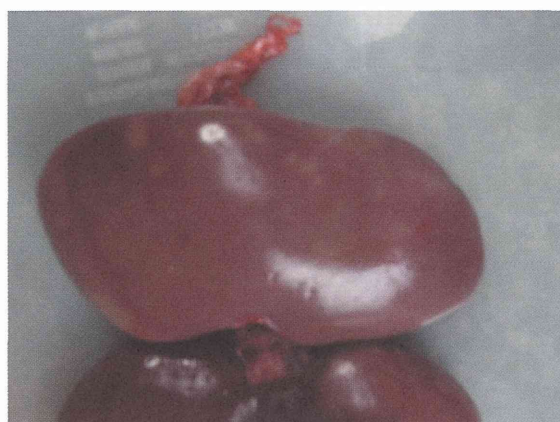
2013/7/15 (豊北町)
イノシシ、メス
肝臓に多くの白斑病変、肝蛭の寄生



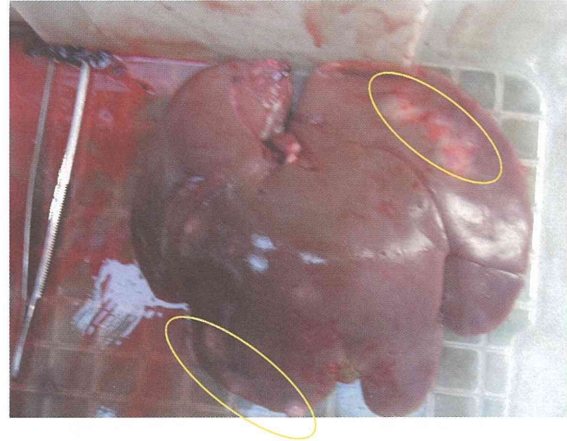
2013/9/7 (豊北町)
イノシシ、オス、推定30kg、推定115cm
肝臓に白斑、肝蛭は確認できず



2013/9/14 (豊北町)
イノシシ、メス、52kg
腎臓に多数の白斑、寄生虫は確認できず



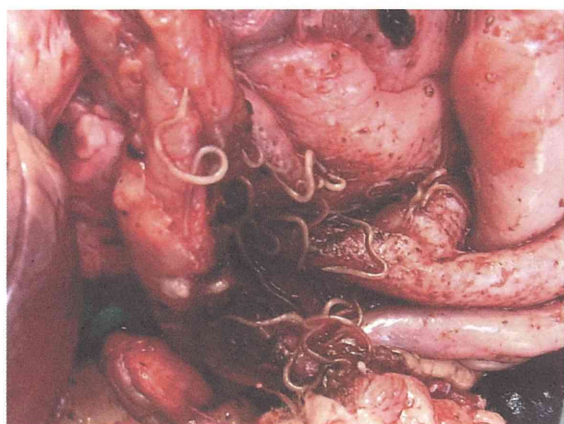
2013/10/26 (豊北町)
イノシシ、メス、13kg
肝臓に白斑、肝蛭は確認されず



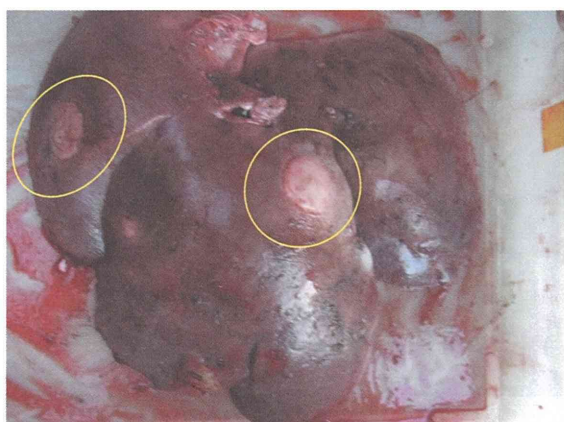
2013/11/16 (豊北町)
イノシシ、メス
腎臓の腫大、異形成



2013/11/16 (豊北町)
イノシシ、メス
腹腔内に多数の豚胃虫(Ascarops Dentata)



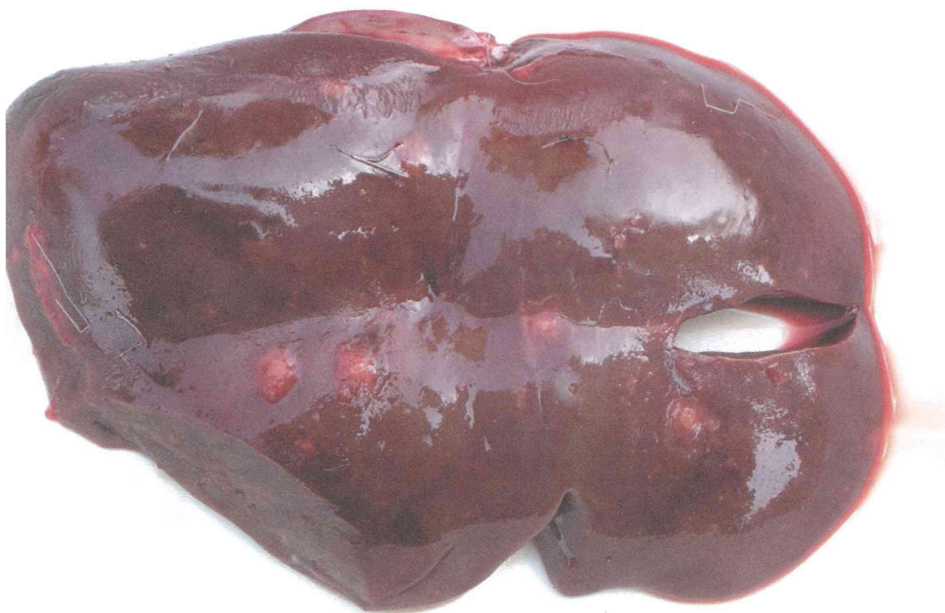
2013/12/14 (豊北町)
イノシシ、メス、23kg、102cm
肝臓に白い癍痕、寄生虫は確認されず



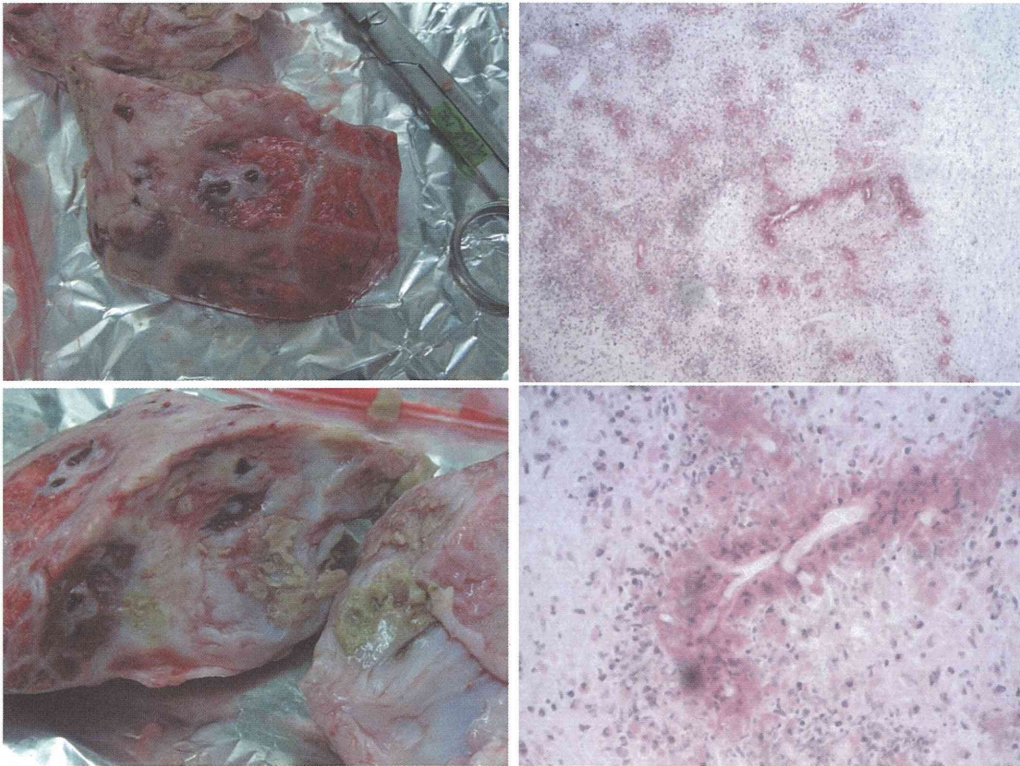
イノシシの疥癬 (ヒゼンダニによって引き起こされる)



シカの肝膿瘍 (*ARCANOBACTERIUM PYOGENES* & *FUSOBACTERIUM NECROPHORUM* などによる)



広島のイノシシの肺に認められた大理石紋理と乾酪性結節(真菌感染症)



参考資料(サルモネラとダニについて)

イノシシの腸内容物に注意！ (大石ら 獣医畜産新報 2014年1月)

イノシシから分離された *Salmonella* Choleraesuis の性状解析および浸潤状況調査

大石大樹*1, 入部忠*1, 大谷研文*1
秋庭正人*2, 小林秀樹*2, 谷村信彦*2

Daiki OHISHI, Tadashi IRIBE, Akifumi OHTANI, Masato AKIBA, Hideki KOBAYASHI, Nobuhiko TANIMURA

*1 山口県中部家畜保健衛生所 〒754-0897 山口県山口市嘉川671-5

*2 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所

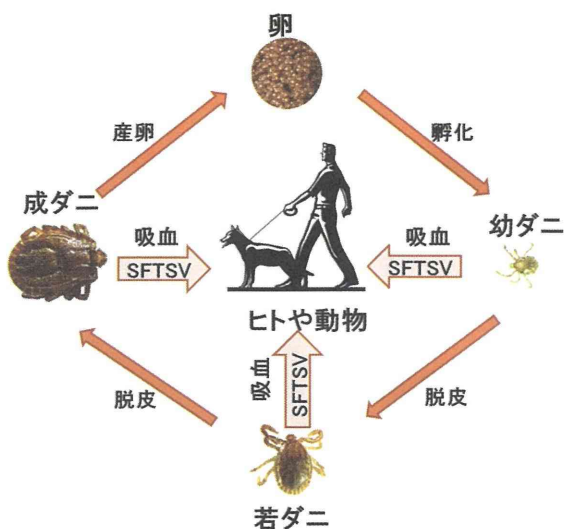
〒305-0856 茨城県つくば市観音台3丁目1-5

県内イノシシ飼養農場において、死亡イノシシから *Salmonella* Choleraesuis (SC) が分離され、イノシシのSC感染症が国内で初めて確認された。病性鑑定では病理学的検査において主要臓器で短桿菌の集塊、全身組織でサルモネラO7抗原が確認された。細菌学的検査では主要臓器等からSCが分離された。分離SCは硫化水素産生性の生物型Kunzendorfであり、薬剤感受性試験では11/12薬剤で感受性を示した。パルスフィールドゲル電気泳動では参照株および国内豚由来のKunzendorfと違いは認められず、豚とイノシシでは同じ遺伝的背景を有する株が浸潤している可能性が示唆された。県内野生イノシシ血清を用いた浸潤状況調査では**6/178検体(3.4%)がサルモネラO7群抗体陽性**であり、県内野生イノシシのSC保菌率は数%程度と推察された。

腸内容物に注意！

重症熱性血小板減少症候群ウイルスのシカ・イノシシの感染状況

SFTSVの感染環



SFTSV抗体保有率

	シカ (山口)	イノシシ (山口)
検査数	130	134
陽性数	65	9
陽性率	50%	7%

ダニに注意！

動物から回収されるダニ種

イヌ(山)

1. フタトゲチマダニ
2. キチマダニ
3. ヤマトマダニ

(猪熊ら Avant vol.26)

イノシシ(島根)

1. フタトゲチマダニ
2. タカサゴキララマダニ

(Motoiら JVMS 2013)

シカ(山口・春から夏)

1. フタトゲチマダニ
2. イエンチマダニ

(Inokumaら JVMS 2002)

シカ(山口・秋と初春)

1. キチマダニ
2. オオトゲチマダニ

(Inokumaら JVMS 2002)



イノシシ・シカの寄生虫病変

作成者 : Ken

ドロレス顎口虫
イノシシ・胃



腎虫性腹膜炎
イノシシ・肝
被膜そぞう・繊維素付着



肺虫
イノシシ・気管支—細気管支

